

郵政改革に関するヒアリングの資料

H21.12.11

郵便局利用者

小林 伸也

1. 私の住む町の概況

- (1)面積 166.46平方KM (山林 58.76 田 45.78 宅地 4.81)
四方を標高約1700M~2100Mの山々に囲まれた純農村地帯
- (2)人口 17,799人(人口密度109.59人) 世帯数 5,306戸
内65歳以上 5,336人 30.0%
内75歳以上 3,138人 17.6%
- (3)限界集落及び準限界集落数
自治会数 156 限界集落数 1 準限界集落数 39
- (4)町の一般会計予算 79億8千万円 (内地方交付税 41億4千万円)
- (5)町内の企業 東証1部上場企業の子会社が2社
日本ケミコン(従業員 約400人) 三菱鉛筆(従業員 約150人)
- (6)町内の金融機関
小松地区だけに銀行1、信金1、信組1
総ての7地区にJA支所があるが、小松地区を除いてはATM設置だけで
そのATMも数年で撤去される予定だと言われている

2. 町内の地区別人口と郵便局の数及び業務

地区	人口	業務(郵便)	銀行	保険	事業)
小松	5,441	◎	◎	◎	◎
犬川(簡易)	2,179	◎	◎		◎
大塚	2,469	◎	◎	◎	◎ 他に簡易郵便局有り
吉島	2,922	◎	◎	◎	◎ 他に簡易郵便局有り
中郡(簡易)	3,340	◎	◎		◎ 他に簡易郵便局有り
東沢	688	◎	◎	◎	◎
玉庭	1,204	◎	◎	◎	◎ 他に簡易郵便局有り

3. 町内の年金受給者 6,263人(国民年金受給者の延数) ※他の年金は不明
郵便局の利用者 2,446人

4. 郵政民営化による弊害

民営化の弊害としては手数料の値上げ(銀行と同じ料金)や郵便ポストの削減
都市銀行並の手続きが必要とかの理由で作業時間が長くなった

5. 郵便局の雰囲気

私がいつも利用する郵便局は大変に良い雰囲気である
偶数月の15日は年金受給者で賑やかであり、様々な話題が飛び交っている
季節の野菜や田圃の匂いのするような取れたての米を運び込む姿も見られる

6. 今後の郵政業務に望むこと

- (1)公共交通はJR米坂線(利用者のほとんどが高校生)とバス会社の路線がただひとつの本町のような田舎では郵便局の存在が社会生活を営むうえで大きな役割を担っていることの理解を持ってほしい
- (2)利用者の多くが高齢者の場合が多いので、多岐にわたるサービスも良いが、その場合は「Simple is the best」の言葉のように使い易さに配慮してほしい
- (3)郵便局は地域の歯車、潤滑油的な役目を担っていると私は考えます
例えば、私の母はひ孫の為に学資保険に入ってくれていたのは郵便局員の方の親切なお誘いがあったものと私は思っている

7. まとめ

- ・民間企業が地域や人々の安心・平和を考えずに利益追求を目指す傾向が強くなりすぎた昨今では、郵政事業は地域での公益を担う大きな存在である
- ・全国の郵便局数は約24,000、全国の小学校数は約22,000であることは、子供でも高齢者でも徒歩で行ける距離にどちらも設置されていることの意味は昔も今も変わっていないし、変わってはいけないと考えます
- ・郵政株式処分凍結法が成立したので、俗に「ハゲタカ」と呼ばれる者の餌になる心配は当分なくなったが、もし成立していなかったら町内の郵便局はただひとつといった状態になるのも時間の問題であっただろう
- ・公益事業・教育・文化・スポーツは目先の経済的効率だけを求めるものでなく、50年先、100年先のことを考慮したものであってほしい
- ・リストラ(本来は restructuringで人員削減だけの意味でないが)と称する誤った意味の言葉に今の日本は惑わされていると私は思う